

J A P A 優良部品の流通を一層促進

新・推奨制度がスタート！

日本自動車部品協会（J A P A、松村正史理事長）はこのほど優良部品推奨制度を大幅に改定し新たなスタートを切った。新制度を活用して優良部品の一層の流通を推進し、自動車社会の安心と信頼、安全を守る。

産機用部品、リビルト、スキヤンツールも対象に

「自動車優良部品推奨制度」は1972年に同協会が優良部品の品質や性能の向上を図るとともに、粗悪品を排除し、補修部品市場の健全な発展、優良部品の地位向上などを目指して発足させた。

同制度が発足してからは優良部品の認知が広がり、汎用性があり廉価で高品質の優良部品は市場での信頼を確固たるものにした。

しかし発足以来、制度の見直しを行わなかつたため、時代にそぐわない面が発生しており、会員社の実務者を中心の一昨年から制度の内容について見直しを進めていた。

新制度では推奨制度の目的に、粗悪品を排除することをはつきりどうたい、模倣品の流通防止を図り知的財産権を保護することを盛り込んだ。

また推奨品目として産業建設車両用の部品や自動車整備用機械器具、機械工具、スキヤンツール、リビルト部品を加えた。

海外部品については生産国、製造

メーカー、流通販売商社、品質、性能、安全性、知的財産権の尊重等を考慮し慎重に判断する。

さらに推奨のための判断基準として製造会社（または申請会社）の保証責任に関する基準、製品に関する品質の基準などを細かく定めた。

推奨マークを一新 まず国内で商標登録

推奨は推奨委員会の審議を経て理事会が決定する。適格と認められた申請者に対しては推奨証書を交付





しその有効期限を5年以内とする。

推奨品であることを表示するマークも今回一新した。従来の丸型から角型に変え、同協会の略称である「JAPA」のロゴと「自動車優良部品」の文字を目立たせた。模倣品防止のため、まず国内で商標登録を行い、海外では緊急性の高い地域から登録を行っていく考え。

松村理事長は「補修部品市場においてはこれからも点検整備の需要とそれに伴う部品供給の重要性が増していく」との見解を示し、「市場において廉価かつ汎用性に優れ、品質が高い優良部品の果たす役割は一層強くなる」として、新制度を活用し国内外での優良部品の流通促進を図り、最終ユーダー利益に一層貢献していく構え。

役員は全員留任 任期を2年から1年に

新推奨制度は5月25日、都内の東京グリーンパレスで開催された「第43期定時総会」で発表された。

松村理事長は総会の席上で「今後は海外製品の国内市場への流入が加速され、ますます市場が混沌として

くる。JAPAは補修市場で安心して使っていただきだける商品を選別して、品質の良いものだけを供給する責任があることから、新制度を活用して優良部品の一層の地位の向上、普及を図り、車社会の安心と信頼に貢献していくことが必要」とJAPAの使命や役割を強調。「JAPAの原点に戻り新制度の活用を活動の柱として新たに再出発する年にしたい」として、今年度は新しい推奨制度の実施を重点事業として取り組む。

役員の選任では松村理事長はじめ全役員が留任。役員の任期を2年から1年とする定款の改定について承認可決された。

また準会員として新入会した富士ブレーキ工業の秋山武社長が紹介された。

総会後は経済産業省製造産業局自動車課の阿部容久課長補佐による「自動車補修部品産業未来ビジョン」について講演会が開かれた。

懇親会では竹内眞哉副理事長があいさつに立ち「新しい形となつた推奨制度を皆様の力を借りて広め、優良部品の発展につなげていきたい」と意欲を示した。